

総合型地域スポーツクラブ

って何？ その4



Q 今どうして総合型地域スポーツクラブなのですか。

A 現在、少子高齢社会の進展、生活環境の利便化に伴う身体活動の不足、コミュニティ感情の希薄化などが指摘されており、21世紀においても活力ある社会を維持していくためには、誰もが主体的、継続的にスポーツに親しめる環境づくりが急務です。また、学校では、指導者の不足や高齢化、生徒数の減少から活動できない部活動があるなど、生徒のニーズにあった選択ができない状況があります。さらに、学校週5日制とも絡んで、地域における児童生徒のスポーツ活動の受け皿を整備する必要があり「総合型地域スポーツクラブ」の育成が求められています。

Q 総合型地域スポーツクラブをつくるにはどうしたらいいですか。

A 総合型地域スポーツクラブの創設は、①既存の各種スポーツクラブの集合、②体育指導委員等のスポーツ指導者の呼びかけ、③スポーツ少年団を核にして、④体育協会や競技団体の呼びかけ、⑤学校運動部活動と地域のスポーツ活動を融合して、等様々な形態が考えられます。いずれにしても総合型地域スポーツクラブは、地域住民が自主的・自発的意志に基づき設立し、運営するものです。まず、地域のいろいろな立場の人と、スポーツを通じた町づくりの夢を語り合しましょう。

Q 総合型地域スポーツクラブのメリットは何ですか。

A 既存のスポーツクラブやチームは、ほとんどが単一種目の活動であり、会員が固定的、ゲーム中心、拠点施設がないなどの特徴があるといわれています。

総合型地域スポーツクラブは、①地域住民が自主的に運営、②拠点となる施設がある、③複数のスポーツ活動を実施、④有資格のスポーツ指導者が配置されている、⑤青少年から高齢者まで幅広い年齢層が参加、⑥地域住民の交流の場がある、などの特徴を持っています。このため、県民の皆さんの健康・体力増進に資するだけでなく、スポーツに親しむ人の増加や地域コミュニティづくりなどに寄与します。

Q 既存のスポーツ団体（市町村体育協会、体育指導委員会、地域の体育振興会など）や既存のスポーツクラブ・チームとの関係はどのように考えればいいですか。また、学校運動部活動との関連はどうなっていますか。

A 既存のスポーツ団体には、有資格の指導者が登録されています。また、同時にスポーツ行事等に関するノウハウを持っています。クラブの運営を適切に行っていくためには、既存のスポーツ団体のこうした資源を有効に活用すべきです。また、既存のスポーツクラブ・チームの活動をスポーツ教室として地域住民に開放するなど、総合型地域スポーツクラブの活動の一部に既存のスポーツクラブ・チームの活動を取り込むことにより、地域の多くの人々が活動に参加し、つながりを持ち「地域コミュニティづくり」にも大きな役割を果たすことができると考えます。

学校の運動部活動は、学習指導要領において位置づけられている学校教育活動です。しかし、運動部活動への参加生徒数の減少、指導者の不足などから、チームが編成できない、十分な指導を受けられないなどの状況があります。そこで、生徒の多様なニーズに応えるため、地域のスポーツ活動との連携を深め、地域に総合型地域スポーツクラブが育成され、条件整備が図られたところから地域と融合したスポーツ活動として展開を図る必要があります。